

藻類の位置付けを重視した地球生命体の区分

石川依久子

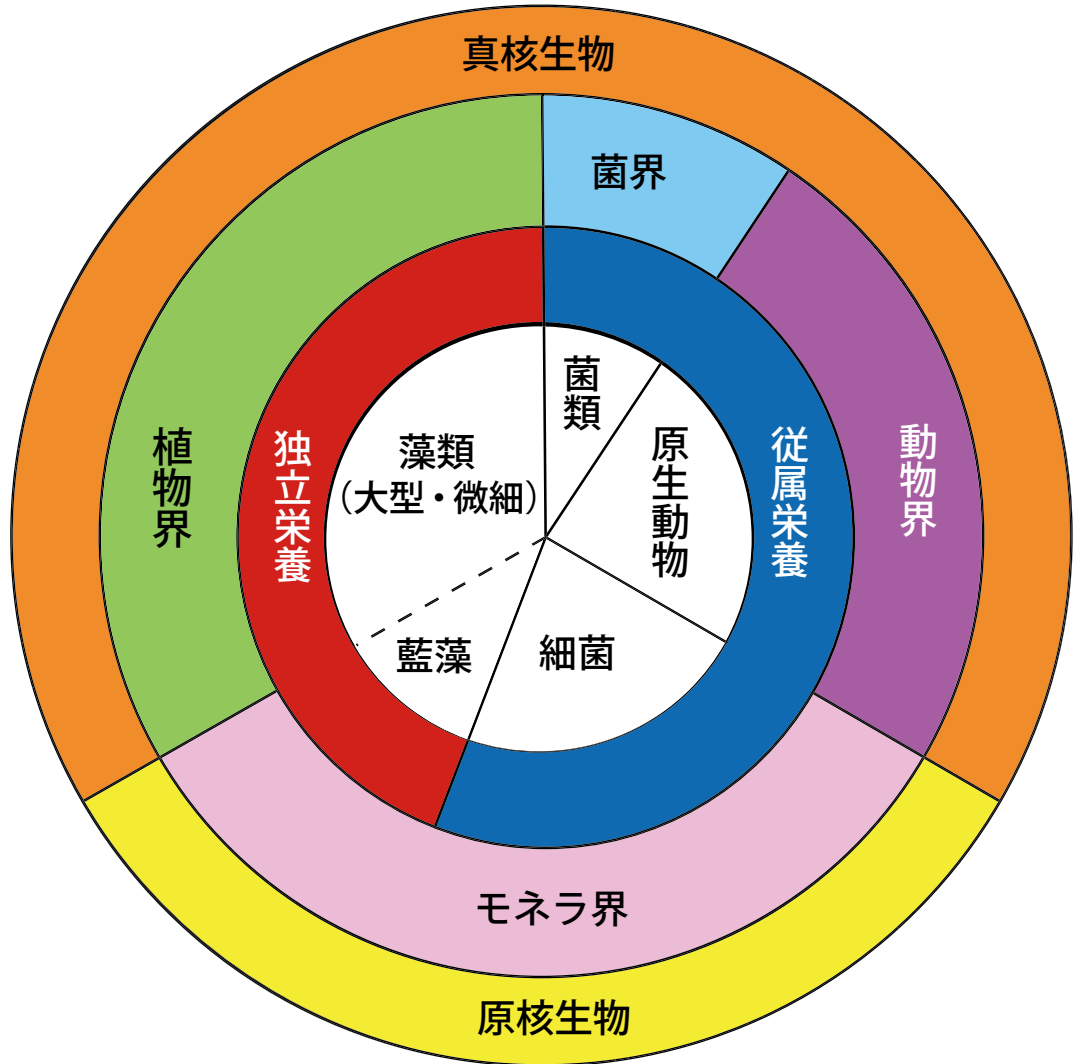
自然界における藻類の位置は、非専門家にとってわかり難いのが現状である。

“藻類とは何か”を一見してわかりやすく理解させる図を考えた。Marglis も Whittaker も不満が残る。さりとして、精鋭な藻類分類学者から見た藻類界の区分けは一般には受け入れ難い。本図では、あえて一般的に受け入れやすいように藻類を大型、微細、と記載した。また、厳密には光合成と無機物のみによって生きる生物は少なく、混合栄養 Mixotrophy も多いが本図ではあえて光合成をする生物を独立栄養 Autotroph とした。

本図は、個体数や種の数などを無視し、また個体の大きさや進化の過程なども無視して、極力単純なイメージで「藻類はどこに位置するか」を描いてみた。

“藻類とは何か”を、そして著者が強調したい“藍藻（シアノバクテリア）とは何か”を理解していただきたい。専門的立場からは多々意見があると思われるが、科学する人々の初歩的知識の一つとして本図を見ていただくことを願っている。

(理化学研究所 生命光学技術研究チーム)



- 真核生物：Eukaryote
- 原核生物：Prokaryote
- 植物界：Plantae
- 動物界：Animalia
- 菌界：Fungi
- モネラ界：Monera
- 独立栄養：Autotroph
- 従属栄養：Heterotroph
- 藻類：Algae
 - 大型藻：Macroalgae
 - 微細藻：Microalgae
- 藍藻：Cyanobacteria
- 菌類：Fungi
- 原生動物：Protozoa
- 細菌：Bacteria
- 微細藻と原生動物は原核生物：Protista